

ふるさと先生を迎えて、じゃがいもの収穫

9月22日、ふるさと先生の伊藤正行さんを迎えて、3年生以上の子どもたちは、じゃがいもの収穫をしました。5月に植えたメークイン、今金男爵をはじめとした数種類のじゃがいものは、このひと夏で大きく生長し、収穫の秋を迎えました。

伊藤さんが畑にフォークを入れると、次から次へじゃがいもが顔を出しました。この日は、この季節にしては、とても暑い日で、子どもたちも先生方も汗びっしょりになっての収穫作業となりました。

収穫されたじゃがいもは、掘った子どもたちにおみやげ用に分けるとともに、今後、全校での試食も予定しております。伊藤さん、種いも植えから、防除、収穫まで、面倒をみて下さり、ありがとうございました。



たくさんのおもちゃにふれ、音楽を楽しみました

9月6日、二町（せたな町と今金町）合同授業交流会が、本校で開かれました。両町の音楽サークル員が集まり、子どもたちに合唱、リコーダー合奏を聴かせ、また楽器をさわらせ、音楽を楽しんでもらおうという授業が行われました。



楽器体験では、クラリネット、トロンボーン、チューバ、バイオリン、琴などを子どもたちが実際に音を出してみました。最初は音が出なかった樂器もありましたが、練習して少しでも音が出た時、子どもたちは、大喜びでした。6年生の齊藤愛芽さんは、「中学校では吹奏楽に入りたいので、いろいろな樂器を弾くことができてよかったです。」と感想を述べてくれました。

10月 予定

- 2日(月) 児童会
4日(水) 外国語活動(高) ブックン
一斉下校 14:30
5日(木) 町P連理事会
6日(金) 吉田先生来校
9日(月) 体育の日
10日(火) 朝会 クラブ活動(料理)
交通安全指導
11日(水) 外国語活動(高)
12日(木) P T A 合同会議
13日(金) 吉田先生来校
15日(日) 種川収穫祭（本校P T A参加）
16日(月) 吉田先生来校 色覚検査～20日

- 17日(火) 種川小学校説明会 13:00
18日(水) 外国語活動(全) ブックン
職員会議 ふれあい相談
19日(木) 児童会
20日(金) 就学児知能検査 交通安全指導
吉田先生来校
23日(月) 朝会
24日(火) 発育測定
25日(水) 眼科検診 外国語活動(高) 校内研修日
一斉下校 14:30
27日(金) 貯金日
30日(月) 交通安全指導 児童会
31日(火) 水曜日課 一斉下校 14:30

※ は皆さんと関わりを持ちたい行事です

種小便り

今金町立種川小学校通信 平成29年10月2日発行 第7号



学校教育目標

- 学び合い 高め合う子ども
- 美しさを求め 心の豊かな子ども
- みんなと協力し合う子ども
- たくましく 健康な子ども

折り返し地点でバトンワークを考える

校長 佐藤 等

昼夜の気温差が大きくなつたこと、そして、くつきりとした形の雲が空高くゆっくりと動いていく姿や学校周辺の木々の葉の色が変わっていく様子を見ることで、秋の深まりを感じる頃となりました。農家の方々の苦労が報われる実りの秋の到来です。先日の台風18号による被害もそれほど大きくなかったということで、少し安心して過ごしているところです。

さて、日本の教育においては、2030年という年の社会を視野に入れた取組がかなり前から進められています。10～15年後の世界や社会の変化を視野に入れた学校の意義の捉え直しを始めとして、社会に開かれた教育課程を目指した様々な取組です。現在進められている、コミュニティースクールの拡大、外国語活動の時間の増加、高校改革等もこの取組の一環として考えられます。数年前から、子どもたちの多くは、大学卒業時に今は存在しない職業に就く可能性が非常に高いということが言われてきましたが、大きな転換期を迎えることは間違ひありません。「何を知っているか、何ができるか」「知っていること・できることをどう使うか」「どのように社会・世界と関わり、よりよい人生を送るか」というこの三つを柱として、幼児教育から高校までの育成すべき資質・能力が整理されてきているのが現実です。今月は3か所の神社の祭典にお招きをいただきました。そして、どの地域においても、ひと昔前の祭典の賑やかさ語る声を耳にしました。様々な困難を乗り越えて、今までこの地に根付いて伝統と文化を繋いできた方々。この方々は意識せずとも、知恵と工夫を積み重ねて、この三つの柱のもとに人生を歩まれてきたのだろうと想像することができました。そして、改めて二十代の真っ只中で生きることと格闘している子どもたちの姿に思いを致すこととなりました。残るは、その間に立つ私たち親世代が、どのようなバトンワークをもって確実に我が子たちへバトンを引き継ぐかになります。

学校においては、いよいよ今年度の折り返しを迎えることになりました。残された期間は半年です。その後半の最初に行われる大きな学校行事が学芸会です。今までの学習の成果を存分に発表すると同時に、係活動等で自分の役割を果たすことも大事なこととなります。今までの学校の歩みがどうであったのか。内側からの見方だけでは正しい判断ができない場合もあります。そのために、保護者はもちろんのこと、地域住民の皆さんとの声をお聞かせ願いたいと思っています。その学芸会は11月5日（日）に行う予定です。多数の皆様方にご来場いただき、盛り上げていただくことを願っております。

『読むことは人を豊かにし、話し合うことは人を機敏にし、書くことは人を確かにし』
これは、哲学者フランシス・ベーコンの名言です。「読む、話し合う、書く」、この三つが人を知的に成熟させるということは16世紀から言っていたことです。秋の深まりとともに、これからは少しの間過ごしやすい時季となります。学校の中でもそうですが、ぜひとも家庭の中でもこの三つを取り入れた生活を心がけてみてください。避けては通れない話題は数多くあるはずです。

たくさんの思い出ができました
～秋のバス遠足～

教育実習生本校に子どもたちも大喜び

今年も9月11日から5日間、教育大学札幌校の学生4名が教育実習のため本校を訪れました。この実習は、教員を目指す学生たちがへき地での教育を体験する目的で、本校は、毎年この時期に実習生を受け入れておられます。

実習生たちは、それぞれの学級に入り、少人数指導、複式指導の「いろいろ」を学びました。初めて複式指導を経験した2人の実習生は、2学年分

の授業の準備をし、交互に指導に回るなどして、「とても貴重な経験ができました」と話していました。

子どもたちも、休み時間、放課後などびっしり遊んでくれる実習生が大好きで、活気のある一週間はあっという間に過ぎました。



牛丼の日

9月25日、町内で生産された黒毛和牛を使った「牛丼」が給食に登場しました。今金町の黒毛和牛は、全国の審査会でもトップクラスの成績を誇っているそうです。この日は、教育委員や教育委員会職員等も交えての交流給食となりました。

地元でもなかなか口にすることのできない牛丼ですが、子どもたちは、年に1回の牛丼の味を楽しみながらいただくことができました。



子どもたちの元気な「ワッショイ」が響き渡りました

～特認校保護者もたくさん参加 種川の秋祭り～



9月10日、種川の秋祭りは、とてもいい天気に恵まれました。本校といたしましては、種川ふるさとを築く会（早坂忠会長）に協力する形で、本年度もPTAのご支援をいただきながら3基のみこしを出させていただきました。

今年は、特認校制度を利用して通学する子どもたちの保護者も多数参加し、みこし行列は、とても賑やかなものとなりました。

子どもたちは、3つのグループに分かれて、地域を回りました。「ワッショイ、ワッショイ」元気のよい声にたくさんの地域の皆様に温かい声



をかけていただきました。また、たくさんのご厚志もいただきました。皆様からいただいたご厚志は、子どもたちのための教育活動に有効に活用させていただきます。

また、子どもたちは、みこしの他にも太鼓や踊りでも活躍し、お祭りを盛り上げる一翼となりました。

地域の皆さん、保護者の皆さんと一緒に地域の行事に参加することによって、また、地域の皆さんとふれあうことで、子どもたちのふるさとを大切にする気持ちが大きく育ちました。

9月29日、子どもたちは、秋のバス遠足で函館方面へ出かけました。函館駅前にある「はこだてみらい館」では、壁いっぱいの大きな映像や、人の動きに反応するディスプレーなど、たくさんの体験をしながら、科学のおもしろさを学びました。

その後は、楽しみな昼食と買い物。イオン上磯店に向かい、レストランでお子様ランチ、カレーなど好きなものを食べました。いつもの給食とは違った雰囲気で、子どもたちも大喜びでした。

おなかを満たした後は、小グループに分かれての買い物体験。1・2年生は1000円以内、3年生以上は2000円以内のお小遣いで、ショッピングを楽しみました。服やアクセサリー、文房具、おみやげ売り場など、時間いっぱい店内を動き回っていました。

子どもたちの昼食代金や高速道路料金などは、子どもみこしに寄せられたご厚志から支出させていただきました。ありがとうございました。



Jアラート（全国瞬時警報システム）が配信された時
子どもたち保護のご協力を

今金町では、登下校中、北朝鮮からミサイルが発射された場合、子どもたちの安全を確保するために、近くの地域住民の家に避難するよう指導しております。万が一このような事態が発生した場合、ご協力下さいますようお願い申し上げます。尚、ミサイルが日本上空を通過し、着水した時点で解除とします。